



岐阜県立飛騨神岡高等学校

地域と共に活力ある学校にする取り組み

飛騨神岡高校一般開放講座「3D-CAD&3Dプリンター」

1月28日(土)本校の設備を使い、一般の方に最先端のものづくりを体験していただく3D-CAD(キャド)と3Dプリンターの講座を開講しました。当日は小中学生とその保護者や中学校の先生など約20名の方に参加していただき、講師は職員の他、工業技術系列電気系とロボット部の生徒4名が務めさせていただきました。講座の内容は無償で使用できる高性能3D-CADを使いネームプレートを設計。完成した3次元データを使って3Dプリンターで出力しました。

来年度もこのような講座を計画しますので、是非ご参加ください。なお、材料費などの経費は飛騨市から支援をしていただきました。



第3回地域と共に活力ある学校づくり推進協議会

2月2日(木)本年度最後となる「地域と共に活力ある学校づくり推進協議会」と「学校評議会」を合同で開催しました。飛騨市長さんをはじめ多くの方にご出席いただき、今年度の取り組みの報告や今後の飛騨神岡高校と地域の活性化について議論していただきました。

また、今回は進路が決定し卒業を控えた3年生が「高校生活の3年間を振り返って」というテーマで発表しました。各系列ごとに工業技術系列から神岡町内の企業に内定した若月紳吏くん、ビジネス会計系列で高山市内のホテルに内定した大山美鈴さん、文理2系列で自衛隊曹候補生に内定した木村碧海さん、文理1系列から国立大学に合格した西真優さんの4名が、自分の取り組みや高校生活の思い出、将来の夢などを話しました。

その発表の全文を飛騨市ホームページに掲載していただきましたので、ぜひご覧ください。



東京大学宇宙線研究所の大学院生との座談会

2月3日(金)東京大学宇宙線研究所の大学院生と本校の4年制大学進学を考えている2年生との座談会を開きました。お越しいただいたのは三代浩世希さん。本校生徒の質問に三代さんが答える形式で行い、高校と大学・大学院の違い、進学を志した理由、受験生としての過ごし方のアドバイス、物理を選択した理由や学習上のアドバイスなどを質問しました。三代さんは初め本校生徒の硬い表情に戸惑い気味でしたが、話が進むにつれ生徒たちもリラックスし和やかな雰囲気となりました。来年度、受験を控える生徒たちには、勉強や気分転換の方法、心構えなど、とてもためになる座談会でした。

本年度は1年生全員によるKAGRAの見学、大学院生の方との交流が2回、KAGRAの先生とのイングリッシュカフェ、KAGRAの先生と研究員の方によるロボット部の訪問2回など東京大学宇宙線研究所と数多くの交流をさせていただき、生徒たちにとって非常に良い刺激となりました。来年度も引き続き連携を強めていく計画でいます。

